

日本の歴史(日本人のはじまり～れいわまで) #N5 #4

動画リンク: <https://youtu.be/FzV14y-w6-k>

今回は「日本の歴史(日本人のはじまり～れいわまで)」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は以前に公開して多くの人にご視聴いただいている「日本の歴史」をさらにかんたんにしたものです。

以前の動画ではN3程度の難易度でしたが、たくさんのご要望をいただき、今回の動画はN5-N4レベルの日本語学習者でも理解ができるように制作されました。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字にふりがなはありません。学習にお役立てください。

■日本人はどこからきたのか

じんるいはアフリカで生まれました。

さいしょの日本人に近いとされる人間はタイのジャングルにいたことがわかりました。

タイのジャングルにいたじんるいが日本に来ました。

それが日本人の始まりです。

■旧石器時代(38000年～16000年前)

この時代は、日本の歴史の一番はじめの時代です。この時代は、3万年以上前から始まりました。

この時代の人たちは、石を使って道具を作りました。その道具を使ってどうぶつやとりをつかまえたり、木の実やくだものを集めたりして生活していました。

火も使い始めました。火はりょうりをしたり、あたたかくしたりするために使いました。

この時代の人たちは、山や地面に大きな穴をほって暮らしていました。この穴は、この時代の人たちにとって雨や風をふせぐための家でした。

この時代の人たちは、小さなグループで協力して生活していました。グループの中で食べものを分け合ったり、いっしょにどうぶつをつかまえたりしました。

■縄文時代(15000年～2500年前)

この時代は、15000年前から2500年前までつづきました。

この時代になると土器を使うようになりました。

土器というのは、土をやいて作った器のことです。食べ物や水を入れるために使いました。この時代の人たちは、あまりいどうしないで暮らしていました。

決まった場所に住むようになり、ひとつの村を作って生活するようになりました。

この時代の人たちは、まだ穴をほって作った家に住んでいました。

石をけずって作る道具だけでなく、どうぶつのほねやツノを使った道具も作りました。

これらの道具を使って、魚を釣ったり、大きなどうぶつをつかまえたりしました。

また、この時代の人たちは、おしゃれやお守りのために使うアクセサリーを作るようになりました。アクセサリーは貝や石で作られました。

■弥生時代(2500年～1700年前)

この時代は、2500年前から1700年前までつづきました。

お米を作るようになりました。

お米を作ることで、食べ物が安定して手に入るようになりました。

お米を作るためにはたくさんの水が必要だったため、川から水を引くためにみんなでがんばって考えたり協力しました。

この時代の人たちは、鉄を使って道具を作るようになりました。

鉄の道具は、石の道具よりも強くて長持ちしました。

この時代の人たちは、小さな村に住んでいました。村は田んぼの近くに作られました。

家は、木や土を使って地面の上に作られるようになりました。

この時代には、魔法のような力で人々を助けた卑弥呼という女王がいました。

■古墳時代(3世紀中ごろ～7世紀ごろ)

この時代は、1700年前から1400年前までつづきました。

この時代の大きなとくちょうは、大きなお墓である「古墳」が作られるようになったことです。

このお墓は、王様やお金持ちの人たちのために作られました。

このお墓はとても大きくて、サッカーのフィールドくらいの広さのお墓もあります。

大阪には日本で一番大きなお墓がありますが、このお墓の大きさはエジプトのピラミッドよりも大きいです。

たたかいに使う武器は鉄で作られるようになりました。

お米の作り方もどんどん上手になりました。

日本に近い外国の国とも仲良くしました。

このときに「仏教」が日本に伝わりました。

仏教はインドで生まれましたが、中国やちょうせん半島を通じて日本に伝わりました。

■飛鳥時代(592年～710年)

この時代は、仏教がどんどん広まり、国の仕組みも作られていきました。

この時代には、聖徳太子というえらい人がいました。

聖徳太子は「みんな仲良くすること」や「上司の言うことをしっかり聞くこと」といった17のルールを作りました。

聖徳太子は、たくさんの学校も作りました。

また、この時代の人たちは、仏教のお寺をたくさん作りました。

仏教の力はどんどん強くなりました。

■奈良時代(710年～794年)

この時代は、1300年前から1200年前までつづきました。

奈良時代には、都が奈良に作られました。

都というのは、今の日本の東京都のような国の中心地です。

この時代は奈良県が日本の中心地だったのです。

この時代でも、仏教はどんどん広まっていきました。たくさんのお寺が作られ、その中でも「東大寺」というお寺が有名です。

東大寺には、大きな大仏があり、多くの人たちがおまいりにやってきました。

大仏とは、仏教の教えを広めるために作られたとても大きなぶつぞうのことです。

■平安時代(794年～1185年)

この時代は、1200年前から800年前までつづきました。
都は奈良から京都に変わり、この時代は京都が日本の中心地でした。
平安時代には「源氏物語」や「枕草子」などのたくさんの本が生まれました。
この時代でも、お寺の数はふえて、仏教はどんどん広まっていきました。
この時代に作られた有名なお寺に「清水寺」があります。

■鎌倉時代(1185年～1333年)

この時代は、800年前から600年前までつづきました。
「源頼朝」が鎌倉に政府を作りました。
この時代には、とても上手にお米を作ることができるようになりました。
おいしいお米がたくさん作れるようになったのです。
多くの人がたくさんお米を食べられるので、みんな元気にはたらくようになり、町がにぎやかになりました。
この時代に、モンゴルが日本に攻めてきました。モンゴルの兵士が日本に攻めてきたので、日本の武士たちはがんばってたたかいました。
モンゴルが攻めてきたとき、天気はすごく悪かったです。
大きな台風があり、強い風とたくさんの雨がふりました。
そのため、モンゴルの兵士が乗っている船はこわれて海にすずんだり、兵士が海にながされたりしました。
モンゴルは日本を攻めることを中止して、船でモンゴルにかえりました。

■室町時代(1333年～1573年)

この時代は、600年前から400年前までつづきました。
足利ファミリーが力を持ち、京都を日本の中心にしました。
京都や大阪などの町は、多くの人が集まり、どんどん栄えていきました。
茶道の文化などはこの時代に生まれました。
この時代の後半には、たたかいやあらいごとがたくさん起こるようになりました。

■安土桃山時代(1573年～1603年)

この時代は、400年前から300年前までつづきました。
たたかいやあらいごとがたくさんありました。
ポルトガルやスペインからてっぽうやキリスト教が伝わりました。
てっぽうが入ってきたことで、たたかいの方法は大きく変わりました。
この時代の有名な人は3人いました。
みんながそれぞれ日本をとういつしようとしていました。
織田信長はなかまにうらぎられて亡くなりました。
豊臣秀吉がそのあと日本をとういつしました。しかし、そのあと亡くなってしまいます。
豊臣秀吉が亡くなったあと、力を持ったのが徳川家康でした。
徳川家康は、豊臣秀吉よりも完全なかたちで日本をとういつしました。
たたかいやあらいごとばかりだった時代が終わり、江戸時代がはじまります。

■江戸時代(1603年～1868年)

この時代は、300年前から150年前までつづきました。江戸時代は徳川家康が江戸(今の東京)に政府を作り、約260年間つづいた平和な時代です。
この時代には、たたかいがほとんどなく、人々は平和に暮らすことができました。
江戸時代には、お米や野菜をとても上手に作ることができるようになっていました。
農民たちは田んぼや畑で毎日がんばってはたらきました。

たくさんの町や村ができ、商人たちが物を売ったり買ったりする市場はとてにぎやかになりました。

江戸や大阪、京都などの大きな町ではたくさんの人が住んだり、仕事をしていました。

江戸は、100万人以上の人住む大きな町になりました。

この時代には、文化も大きくはってんしました。

うきよえという美しい絵や、日本の伝統的なかぶきはとて人気がありました。

また、江戸時代には、きょういくも進みました。

寺子屋という学校があり、子どもたちはそこで読み書きやそろばんを学びました。

寺子屋のおかげで、文字を読んだり書ける人が多くなりました。

勉強することは大切なことだと気づく人がふえて、武士だけではなく町人や農民の子どもたちも勉強するようになりました。

江戸時代には、食の文化もゆたかになりました。

寿司や天ぷらといった今でも人気のある料理がこのころに生まれました。

また、おかしやお酒もたくさん作られるようになりました。食の文化がゆたかになることで、人々の生活はもっと楽しく、充実したものになりました。

江戸時代の初めには、日本は外国と仲良くしていませんでした。

しかし、長崎の出島という場所だけは、オランダや中国などの外国の人たちとの交流がありました。

1853年にアメリカのペリーがとて大きな船に乗って日本にやってきました。

そのころ、日本は外国と仲良くしていなかったため、アメリカとも仲良くすることを断ろうとしました。

しかし、外国と仲良くすることで日本の未来はもっと良いものになると考えました。

日本はペリーが来たことをきっかけに、外国の船が日本に入ることができるようにしました。

こうして日本は江戸時代の終わりころには、外国の人たちとも仲良くするようになりました。

260年間つづいた江戸時代もだんだん政府の力が弱くなり、国民の間ではふまんが高まりました。これが次の明治時代につながります。

■明治時代(1868年～1912年)

明治時代は、江戸時代の次の時代です。この時代は、150年前から100年前までつづきました。明治時代は、1868年に始まりました。日本は新しい政府を作り、江戸時代を終わらせました。これを「明治維新」といいます。

新しいリーダーたちは、西洋のぎじゅつやルールを学びました。これにより、日本は強くなりました。

明治時代には、多くのことが変わりました。たとえば、学校がたくさん作られました。

たくさんの子どもたちが学校で学べるようになりました。読み書きや算数、科学などを学びました。

大学も作られて、多くの人たちが高いきょういくを受けるようになりました。

工場や鉄道もたくさん作られ、たくさん物を作ったり、かんたんに運ぶことができるようになりました。

多くの人たちの生活が便利になりました。

明治時代には、ぐんたいも変わりました。

刀を持つサムライからてっぽうを持つぐんたいに変わりました。

武器やたたかい方も外国から学びました。

そうして日本はどんどん力を持つようになっていきました。

また、明治時代には、文化も大きく変わりました。

外国の文化や生活様式が取り入れられました。

着物を着る人は少なくなり、洋服を着る人がふえました。

明治時代の終わりには、大きな戦争がありました。

日清戦争や日露戦争です。
これらの戦争で日本は勝ちましたが、たくさんの方が亡くなりました。

■大正時代(1912年～1926年)

大正時代は、明治時代の次の時代です。この時代は、約15年間というみじかい時代でした。
大正時代は、社会や文化がさらに変わって、人々の生活が豊かになりました。
たくさんの方が学校に行き、学びました。
この時代にも、戦争がありました。その戦争は「第一次世界大戦」と呼ばれ、日本もこの戦争にさんかしました。
戦争中、日本は多くの物を作り、他の国に売りました。
大正時代には、自由やびょうどうを求めようんどうが広がりました。
人々は、もっと良い社会を作るために、いけんを言うようになりました。
たとえば、女性たちは、もっと多くのけんりを求めました。女性も学校に行き、はたらくようになりました。
この時代には、えいがが人気になり、多くの方がえいがかんに行きました。
新しい音楽やダンスも広まりました。
文学では、新しい作家がたくさん出てきて、たくさんの方が書かれました。
大正時代の終わりころには、関東大震災という大きなじしんがありました。1923年に東京や横浜で起こり、多くのたてものがこわれました。
たくさんの方が家を失い、困りました。しかし、人々は力を合わせて、生きていきました。

■昭和時代(1926年～1989年)

昭和時代は、大正時代の次の時代です。この時代は、およそ90年前から30年前までつづきました。昭和時代は、64年間もつづきました。
この時代にはいろいろなことがありました。
1930年ころ、世界中の多くの人たちが仕事を失って生活が苦しくなりました。
日本はこの時期にぐんたいを強化し、他の国々とどんどん仲が悪くなっていきました。1941年、日本は戦争にさんかします。この戦争は「第二次世界大戦」と呼ばれました。
戦争中、日本はアジアや太平洋の多くの国々とたたかいました。
しかし、1945年に日本は戦争に負けました。
広島と長崎にげんしばくだんが落とされ、多くの方が亡くなりました。
戦争が終わったあと、日本はアメリカにせんりょうされました。
戦争が終わったあと、日本はじどうしゃやかでんせいひんをたくさん作り、外国に売りました。
日本人の生活はどんどん良くなりました。
1980年代には「バブル景気」がやってきます。
今の日本では考えられないようなたくさんの方の給料をもらう人が急にふえました。
多くの日本人がお金持ちになりました。
しかし、その反動で1990年にはたくさんの方が会社が借金でとうさんし、仕事を失う人がふえました。
昭和時代には、文化も大きく変わりました。えいがや音楽、マンガなどが人気になりました。
たとえば、黒澤明というえいがかんとくの方が世界中で評価されました。また、手塚治虫というまんがかの作品も多くの方に楽しまれました。

■平成時代(1989年～2019年)

平成時代は、昭和時代の次の時代です。平成時代は、1989年から2019年までの30年間つづきました。
平成時代には、じしんやつなみなどのしぜんさいがいがたくさんありました。
じしんでは、福島第一原子力発電所で事故が起こり、大きなもんだいとなりました。

平成時代には、ぎじゅつも大きく進歩しました。インターネットがふきゅうして、多くの人がコンピューターやスマートフォンを使うようになりました。

これにより、じょうほうをかんたんに手に入れることができるようになりました。

電子メールやSNSで、遠くの人ともかんたんにれんらくが取れるようになりました。

また、平成時代には、外国の人たちとの交流もふえました。

多くの外国人が日本に来るようになり、日本の文化やぎじゅつが世界に広まりました。

日本人も海外に行くことがふえました。これにより、世界とのつながりが強くなりました。

■令和時代(2019年～現在)

令和時代は、平成時代の次の時代です。この時代は、2019年から現在までつづいています。

令和時代の初めには、新型コロナウイルスの問題が発生しました。2020年から始まったこのパンデミックは、世界中で多くの人たちの生活を変えました。

たくさんのイベントが中止され、旅行も行けなくなりました。人々はマスクを着けたり、手を洗ったりして、かんせんを防ぐ努力をしました。

また、日本の人口はどんどん減っています。

ただ減っているだけではありません。

子どもを産まない家庭がふえているので、おじいちゃんやおばあちゃんはふえています。

人口はどんどん少なくなり、日本人のへいきんねんれいは上がっているということです。

これはとても大きな問題です。

令和時代には、5Gという新しいぎじゅつが広がり、より速く、多くのデータをやり取りできるようになりました。

これにより、YouTubeのどうがなどもこうしてスムーズにみることができるようになりました。

それぞれの時代には、たくさんの出来事と変化がありました。このどうがで、日本の歴史を少しでもりかいしてもらえたならうれしいです。

日本の文化や歴史にきょうみを持っていただき、ありがとうございます。

「日本の歴史(日本のはじまり～れいわまで)」は、いかがでしたか？

この動画を通じて、日本についてもっと知りたいと思ってもらえたら嬉しいです。

これからも、いろいろなテーマで皆さんに役立つ情報をお届けしていきますので、ぜひチャンネル登録をお願いします。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

